NEWS RELEASE

2019 年 12 月 23 日

― 安藤財団 2019 年度自然体験活動支援事業 ―

「第18 回 トム･ソーヤースクール企画コンテスト」

文部科学大臣賞「越前市立味真野(あじまの)小学校（福井県)」、
安藤百福賞(あんどうももふく)「特定非営利活動法人海の森･山の森事務局（神奈川県)」に決定

公益財団法人 安藤スポーツ･食文化振興財団（略称:安藤財団、所在地:大阪府池田市、理事長:安藤 宏基）は、「第 18 回 トム･ソーヤースクール企画コンテスト」（後援:文部科学省ほか）の審査委員会を開催し、2019 年度の表彰団体を決定しました。

学校部門の最優秀賞となる「文部科学大臣賞」は、かつて地域に受け継がれていた「七不思議」の調査・検証を行うことで郷土愛を育むとともに町おこしにも貢献した、越前市立味真野小学校（福井県）の「やっぱ Ajimano おもし Reiwa！『鞍谷の 7 ふしぎ』50 年ぶりに復活させるぞ!!」に決定しました。
また、一般部門の最優秀賞となる「安藤百福賞」は、川や海と親しむ体験を通して子どもたちの環境に対する興味を高め、海洋汚染問題に向き合う機会を提供した、特定非営利活動法人 海の森・山の森事務局（神奈川県）の「子どもたちと取り組む未来へのゼロ・マイクロプラスチック大作戦！」に決定しました。最優秀賞に選ばれた 2 団体には、副賞として 100 万円をそれぞれ贈呈します。
その他、「優秀賞」として 2 団体、「推奨モデル特別賞」として 2 団体、「トム･ソーヤー奨励賞」として 2 団体、「努力賞」として 6 団体を表彰します。
表彰式は、「安藤百福発明記念館 横浜（愛称:カップヌードルミュージアム 横浜)」で 2020 年 1 月 25 日(土)に開催し、表彰式終了後には、ゲストに登山家 貫田(ぬきた) 宗男(むねお)氏をお招きした講演会を開催します。なお、この講演会には抽選で 200 名の方をご招待します。

◇

安藤財団は、創設者 安藤 百福が掲げた「食とスポーツは健康を支える両輪である」の理念のもとに、青少年の健全育成と食文化向上のための事業を行っています。陸上競技の支援事業、独創的な基礎研究、食品開発、ベンチャーなどを支援する食創会「安藤百福賞」表彰事業、「カップヌードルミュージアム」の運営（大阪府池田市と神奈川県横浜市の 2 カ所）のほか、1983 年の財団設立当初から自然体験活動の普及に取り組んでいます。
この「トム･ソーヤースクール企画コンテスト」は、「自然体験は子どもたちの体力、創造力、チャレンジ精神を育む」との考えに基づき、全国の学校や団体から自然体験活動の企画案を公募し、その実施を支援するとともに、優秀な活動団体を表彰するものです。
また、安藤財団では、2010 年 5 月に「安藤百福記念 自然体験活動指導者養成センター」（略称:安藤百福センター）を長野県小諸市に設立し、青少年の自然体験活動を推進するための人材育成や、アウトドア活動の普及に努めています。この 2 つの事業を通じて、子どもたちの自活力を育む自然体験活動の普及啓蒙と指導者の育成強化に貢献しています。

事業概要

1. 名　称　　2019年度自然体験活動支援事業
「第18回トム･ソーヤースクール企画コンテスト」

2. 内　容　　自然体験活動の企画案を公募し、ユニークで創造性に富んだ活動を立案した50団体に各 10 万円の実施支援金を贈呈。さらに、50 団体から提出された活動報告書を審査し、学校部門は文部科学大臣賞と優秀賞を、一般部門は安藤百福賞と優秀賞を授与して表彰します。
また、その内容をウェブサイト「自然体験.com」(http://www.shizen-taiken.com)で公開し、自然体験活動の振興を図ります。

3. 主　催　　公益財団法人 安藤スポーツ･食文化振興財団

4. 後　援　　文部科学省、横浜市、横浜市教育委員会

5. 表　彰　　(1)学校部門

文部科学大臣賞	副賞	100万円、「チキンラーメン」1年分
優秀賞	副賞	50万円、「チキンラーメン」半年分
(2)一般部門		
安藤百福賞	副賞	100万円、「チキンラーメン」1年分
優秀賞	副賞	50万円、「チキンラーメン」半年分
(3)推奨モデル特別賞*1	副賞	30万円、「チキンラーメン」半年分
(4)トム･ソーヤー奨励賞*2	副賞	20万円、「チキンラーメン」半年分
(5)努力賞	副賞	10万円、「チキンラーメン」3カ月分

*1 プランニングや指導の方法、計画を実施に移す過程などが多くの学校や団体の参考モデルになると認められた企画へ贈られる。

*2 企画内容がユニークであり、他団体への刺激や参考となり、さらなる飛躍が期待できる団体へ贈られる。

6. 審査委員会

委員長　安藤 宏基　公益財団法人 安藤スポーツ･食文化振興財団 理事長
委　員　近藤 謙司　日本山岳ガイド協会認定 国際山岳ガイド
節田(せつだ) 重節(じゅうせつ)　NPO法人日本ロングトレイル協会 会長
永井 将史　東京女子体育大学 講師
星野 敏男　明治大学 教授、日本野外教育学会 理事長
水野 正人　ミズノ株式会社 相談役会長
(50音順)

表彰団体

【学校部門】

文部科学大臣賞

◆企画名　やっぱ Ajimano おもし Reiwa！「鞍谷の 7 ふしぎ」50 年ぶりに復活させるぞ!!

団体名　越前市立味真野（あじまの）小学校（福井県）

代表者　無量小路（むりょうこうじ） 宗洋（むねひろ） 校長

活動内容　かつて地域に受け継がれていた「七不思議」を調査・検証し、身近な自然や文化を再発見することを通して、子どもたちの郷土愛を育む企画。

表彰理由　冒険心があり、古き良きものを復活させ、保護し発信していくことで、地域に活気をもたらすというユニークでストーリー性のある企画力が評価された。

優秀賞

◆企画名　五感で感じる体験―南アルプス「鳳凰三山」への全校登山及び自然環境・森林保護活動等の支援

団体名　南アルプス市立芦安（あしやす）中学校（山梨県）

（委託：特定非営利活動法人芦安ファンクラブ）

代表者　石原（いしはら） 敬彦（よしひこ） 校長

活動内容　全校生徒 19 名で鳳凰三山を縦走する。仲間との登山体験を通して豊かな感性を醸成し、五感で感じた感動を表現する力を育成する企画。

表彰理由　郷土の自然環境を活用し、事前トレーニングに十分な時間をあて、目標を達成するために綿密な計画が立てられている点や、生徒の達成感が伝わる報告書の内容が評価された。

【一般部門】

安藤百福賞

◆企画名　子どもたちと取り組む未来へのゼロ・マイクロプラスチック大作戦！

団体名　特定非営利活動法人海の森・山の森事務局（神奈川県）

代表者　豊田（とよだ） 直之（なおゆき） 理事長

活動内容　海岸や川で自然体験を楽しむと同時に、海洋汚染について実感を伴って学ぶ場を提供し、子どもたちの環境問題や海洋汚染に対する意識を高めた活動。

表彰理由　海洋汚染という難しいテーマであったが、子どもたちの興味を引き付ける工夫に優れており、実施回数や参加者数も多く、高い広報発信力を感じる活動が評価された。

優秀賞

◆企画名　令和元年度「災害サバイバルキャンプ」

団体名　独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立大雪青少年交流の家（北海道）

代表者　渡部（わたなべ） 徹（とおる） 所長

活動内容　十勝岳（活火山）の噴火を想定し、活火山の現状を確かめる十勝岳登山、キャンプや炊き出しなど、災害時の不自由な避難生活を学び体験する企画。

表彰理由　自然災害をテーマに 7 泊 8 日の大変充実したプログラム内容で、今まさに日本が直面している現代の自然災害への日常的な備えと、緊急時対応の先駆け的な活動として評価された。

推奨モデル特別賞

◆企画名　僕らのあそび場づくり ～山育・木育・おわせ行く～
団体名　尾鷲市立宮之上小学校（三重県）
代表者　西（にし） 惠美子（えみこ） 校長
活動内容　世界遺産熊野古道 八鬼山（やきやま）の市有林で森や木について学びながら、子どもたちの手で「あそび場」を作るという企画。
表彰理由　歴史ある豊かな自然環境の中、地域の多様な団体の協力のもと林業体験を行い、山育、木育で成長していく子どもたち姿が目に浮かぶ報告であった。

◆企画名　きりたっぷ子ども自然クラブ
団体名　特定非営利活動法人霧多布（きりたっぷ）湿原ナショナルトラスト（北海道）
代表者　三膳（さんぜん） 時子（ときこ） 理事長
活動内容　「町の魅力を感じられるプログラム」を意識して、地域の小学生が浜中町の自然や産業に楽しみながら触れる機会を提供する活動。
表彰理由　今年で 14 年目の応募企画であり、2015 年には「トム・ソーヤー奨励賞」を受賞した。継続的な活動と新たなプログラムの企画で、活動の幅と参加者の輪を着実に広げている。

トム・ソーヤー奨励賞

◆企画名　こちら横浜やきもの研究所！～伝統と環境を未来につなごう～
団体名　横浜市立大岡小学校（神奈川県）
代表者　近藤（こんどう） 浩人（ひろと） 校長
活動内容　「粘土から探す」ことにこだわり、見つけた粘土が焼き物に使えるかどうか実験しながら土器を制作。焼き物を切り口に地域の自然環境や伝統文化を学ぶ活動。
表彰理由　6 年生の児童がユニークな活動内容を自分たちで企画したという点と、子どもたちの「やってみたい」を実践した先生方の指導方法が評価された。

◆企画名　子どもが元気、いきもの元気、地域が元気「湘南いきもの楽校水ガキ養成講座」
団体名　特定非営利活動法人暮らし・つながる森里川海（神奈川県）
代表者　臼井（うすい） 勝之（かつゆき） 理事長
活動内容　相模川の上流域から下流域までの環境を活用して、ウナギの保護活動、間伐体験など多彩な活動を行っている。平塚市が進める生物多様性保全活動に関わる活動も実施。
表彰理由　身近な自然を拠点として、自然体験、冒険体験、環境教育を組み合わせた総合的なプログラムが展開されている点が評価され、指導者の熱心さも伝わる活動であった。

努力賞

【学校部門】

◆企画名　命あふれる自然館大作戦！～よこはまメダカを守りタイ！～
団体名　横浜市立下野庭小学校（神奈川県）
代表者　加藤 雅司 校長

◆企画名　「大地に輝く子」育成プロジェクト
～先人から引き継ぐ「やらまいか」精神を育てる！～
団体名　浜松市立三方原小学校 3 年生（静岡県）
代表者　岩瀬 隆伸 校長

◆企画名　徹底追跡！！この種はどこにいくのだろう？
～一粒の種と共に体験し、考える世界～
団体名　京都市立大淀中学校 家庭科部（京都府）
代表者　脇坂 満 校長

【一般部門】

◆企画名　小笠原キッズカヌークラブ
団体名　小笠原扇浦青年団「要会」キッズカヌークラブ（東京都）
代表者　伊関 毅 会長

◆企画名　多摩川ガサガサたんけん隊
団体名　狛江水辺の楽校（東京都）
代表者　野口 昌男 協議会会長

◆企画名　「ふくい冒険満喫！レッツ！チャレンジ・クライミング」
団体名　福井県山岳連盟（福井県）
代表者　桝田 靖憲 指導委員会 委員長

表彰式・講演会

日　時　2020 年 1 月 25 日(土) 13 時より 15 時 30 分まで
場　所　横浜市中区新港 2-3-4
安藤百福発明記念館 横浜（愛称:カップヌードルミュージアム 横浜）
5 階イベントホール
内　容　①表彰式
②活動報告
③講演会　登山家 貫田 宗男氏
テーマ「海外の山を登り続けて」
参加費　無料

応募方法　はがきまたは「自然体験.com」のウェブサイトからお申し込みください。

＜はがきで応募の場合＞
郵便番号、住所、氏名（フリガナ）、年齢、職業、電話番号、参加人数（4名まで申込可能）を明記の上、ご応募ください。
応募先：〒231-0001 横浜市中区新港2-3-4
（公財）安藤スポーツ･食文化振興財団「企画コンテスト係」

＜ウェブサイトから応募の場合＞
「自然体験.com」のウェブサイト内にある応募フォームより、必要事項を入力してご応募ください。
URL：http://www.shizen-taiken.com
※取得した個人情報は、本表彰式、講演会の抽選および参加証の発送目的以外に、今後、当財団がするイベントなどのご案内に利用させていただく場合があります。

応募締切　2020年1月10日(金)（ウェブサイト：当日20時まで、はがき：当日消印有効）
定　員　200名
※応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。当選発表は参加証の発送をもって代えさせていただきます。(1月中旬頃発送予定)

詳細は、「自然体験.com」のウェブサイト（http://www.shizen-taiken.com）をご参照ください。

《この件に関するお問い合わせ先》
公益財団法人 安藤スポーツ･食文化振興財団
事務局　荒金 善一
〒563-0041 大阪府池田市満寿美町8-25　TEL (072) 752-4335
（火曜日、年末年始は休業）